

## 新副病院長紹介

## シームレスな教育と適正な保険診療が行える環境づくり

診療・教育担当 副病院長 竹中克斗

これまでの2年間、医学科教務委員長を務めており、学生教育全般の責任者をしてきました。2021年5月、医学部4回生の臨床前試験について法制化が決まりました。これによって学生が公的に「スチューデント・ドクター」として位置づけられ、臨床実習での実践的教育が可能になりました。現在、県内25病院で臨床実習を行っており、実践的教育現場となる先生方との協議を進めています。また診療分野では、適正な保険診療を確実に行えるように取り組みます。これは患者さんの権利であり、医師や医療関係者の安全を守ることにもなります。各診療科での問題点を洗い出しつつ、病状説明や各種同意などの記録を確実に残すシステムを目指します。

**PROFILE**

たけなかかつと◎1991年九州大学医学部卒業、同医学部第一内科入局。1997年岡山大学第二内科助手、2000年トロント小児病院血液腫瘍科、2002年オンタリオガンセンター細胞分子学でポスドクフェローとなり、2015年九州大学病院血液・腫瘍内科助教。2018年5月より本学血液・免疫・感染症内科学教授。